

チャレンジ精神に満ちた パッケージソリューション・プロバイダー

2018年12月期第1四半期決算説明資料



竹本容器株式会社

(東証1部 4248)

2018年4月27日

資料構成

1. 2018年12月期第1四半期業績概要

2. 参考資料



2018年12月期第1四半期業績概要

2018年12月期第1四半期連結決算ハイライト

- ・スタンダードボトル、カスタムボトルとも需要が伸び売上高は続伸
- ・日本、中国の売上高増による粗利額確保と販管費の伸びを抑え、営業利益・経常利益はともに増加

	2017年1-3月 ¥16.56/RMB ¥113.60/USD	2018年1-3月 ¥17.04/RMB ¥108.22/USD	前年同期比		2018年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 3,442	百万円 3,727	百万円 + 285	+8.3%	百万円 + 169	+4.8%
営業利益	320	446	+ 125	+39.0%	+ 45	+11.3%
売上高営業利益率	9.3%	12.0%	+2.6 P	-	+0.7 P	-
経常利益	330	456	+126	+38.1%	+ 41	+9.9%
四半期純利益	252	301	+ 48	+19.4%	+ 20	+7.1%
減価償却費	239	246				
設備投資額	452	657				
(うち 金型)	115	92				
EBITDA	560	692				

2018年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

日本

百万円

	2017第1四半期	2018第1四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,698	2,830	+131	+ 4.9%	+33	+1.2%
営業利益	245	355	+110	+44.9%	+25	+7.8%

売上変動要因

- ① 顧客企業の業績好調による、化粧品向けを中心とした需要の増加
- ② 岡山事業所の生産機械増を初めとした国内生産能力増強に伴い製品供給量が増加

利益変動要因

- ① 設備投資により減価償却費負担が増加するものの、生産高増加により売上総利益増加
- ② 販売管理費を前年並みとし、前年同期比、計画比ともに営業利益増加

2018年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

中国 ※（）内はRMBベース

百万円
(百万元)

	2017第1四半期 ¥16.56/RMB	2018第1四半期 ¥17.04/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	729 (44)	884 (51)	+155 (+7)	+21.3% +17.9%	+135 (+5)	+18.0% +10.8%
営業利益	81 (4)	108 (6)	+26 (+1)	+32.3% +28.6%	+15 (+0)	+16.8% +9.7%

売上変動要因

- ① 開発提案型営業によりスタンダードボトル、カスタムボトルとも売上増加
- ② 為替変動の影響は前年同期比で円換算額増加（+3百万円）、計画比で円換算額増加（+8百万円）

利益変動要因

- ① 売上増加に伴う、売上総利益絶対額の増加
- ② プラスチック原材料価格は前年同期比上昇（6百万円負担増）
- ③ 為替変動の影響は前年同期比で円換算額増加（+0百万円）、計画比で円換算額増加（+1百万円）

2018年12月期第1四半期業績概要

区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

- ・スタンダードボトルの品揃え強化と開発提案型営業の展開により、化粧・美容を中心に売上は増加
- ・食品に関しては国内リピート品の出足が鈍く、前1Q比でややマイナス

区分	2017第1四半期		2018第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化粧・美容	2,092	60.8	2,285	61.3	+192	+9.2
日用・雑貨	152	4.4	171	4.6	+19	+12.6
食品・健康食品	314	9.1	281	7.6	△33	△10.6
化学・医薬	160	4.7	199	5.4	+39	+24.4
卸、その他	722	21.0	790	21.2	+67	+9.4
合計	3,442	100.0	3,727	100.0	+285	+8.3

※上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

2018年12月期第1四半期業績概要

区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

- ・開発提案型営業の推進により、日本、中国でスタンダードボトル売上増加
- ・中国で比較的まとまったロットの注文が増加していることもありカスタムボトル売上増加

区分	2017第1四半期		2018第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自社製品 (スタンダードボトル)	2,434	70.7	2,657	71.3	+222	+9.1
顧客金型製品 (カスタムボトル)	384	11.2	417	11.2	+33	+8.7
他社製品	548	15.9	578	15.5	+29	+5.4
材料その他	75	2.2	74	2.0	△0	△0.3
合計	3,442	100.0	3,727	100.0	+285	+8.3

※上記区分は以下により分類しています

自社製品：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

顧客金型製品：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

他社製品：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

材料その他：協力メーカーへの原材料を販売した物等

2018年12月期第1四半期業績概要

金型（新製品）開発状況

スタンダードボトルを軸とした当社グループの事業においては、すべての顧客に提供可能なボトルや付属品の品揃えが重要と認識しており、その指標としてプラスチック製容器を製造するために不可欠な総金型数及び年間の金型製作数をKPIの一つとして重要視しています。

従来の日本と中国での金型開発に加え、新工場建設に合わせてインドでの金型開発がスタートしました。2018年第1四半期の金型製作の進捗状況（新規製品の増加の状況）は下表のとおりです。

金型数			
	2018年第1四半期 完成金型数	製作中	合計
日本	32 (5)	80 (9)	112 (14)
中国	34 (4)	67 (21)	101 (25)
インド	1	15	16
合計	67 (9)	162 (30)	229 (39)

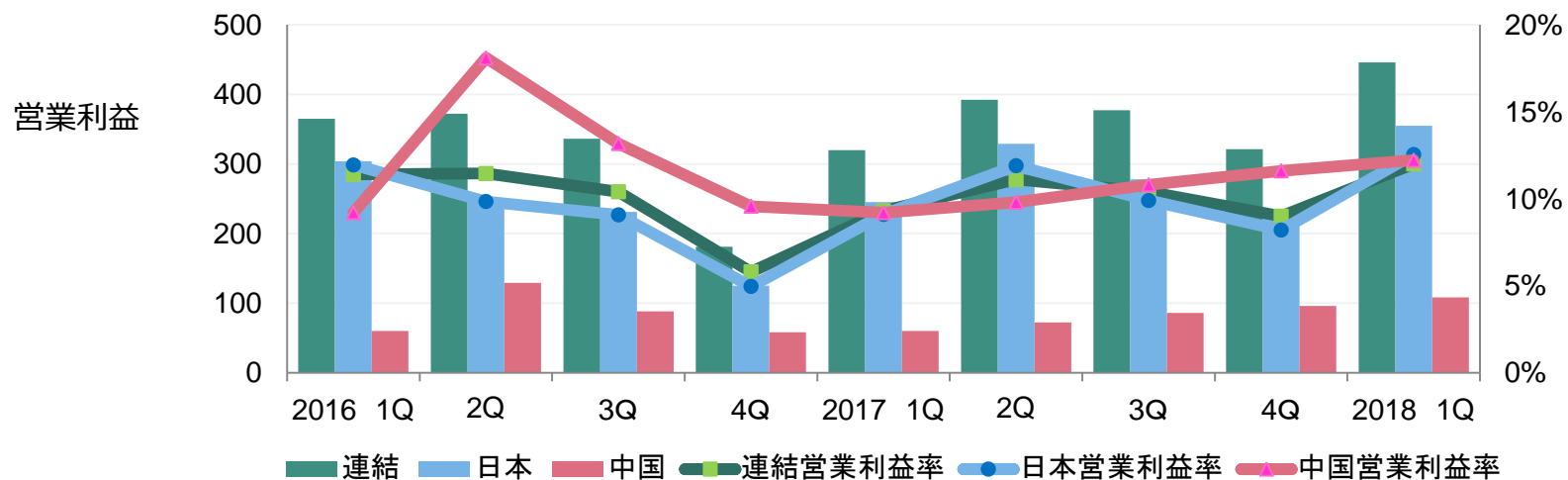
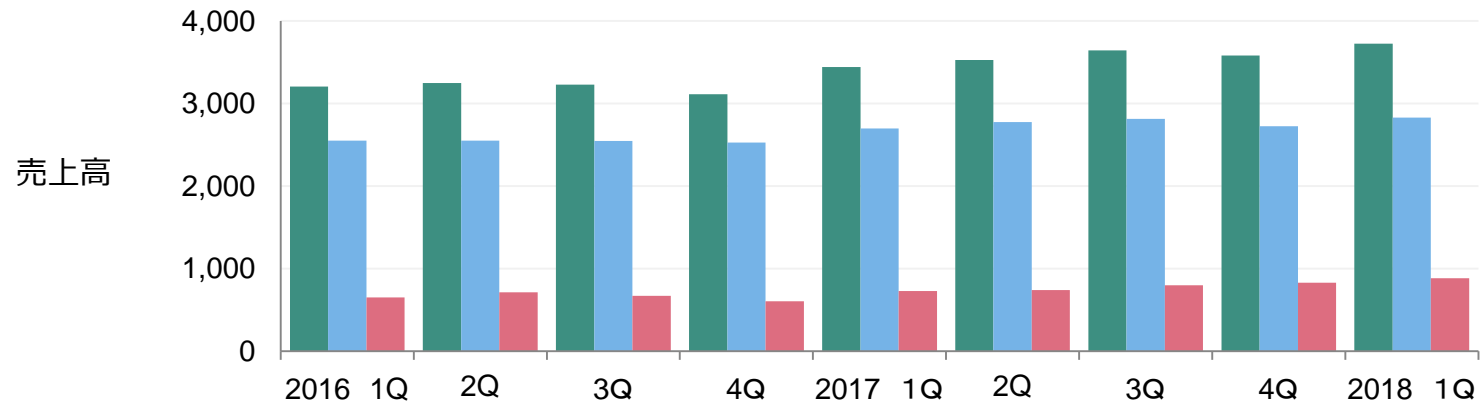
※表の（ ）は内数でカスタムボトル用金型

2018年3月末時点での自社金型数は**3,325型**となっている。

2018年12月期第1四半期業績概要

2016年以降の四半期業績の推移

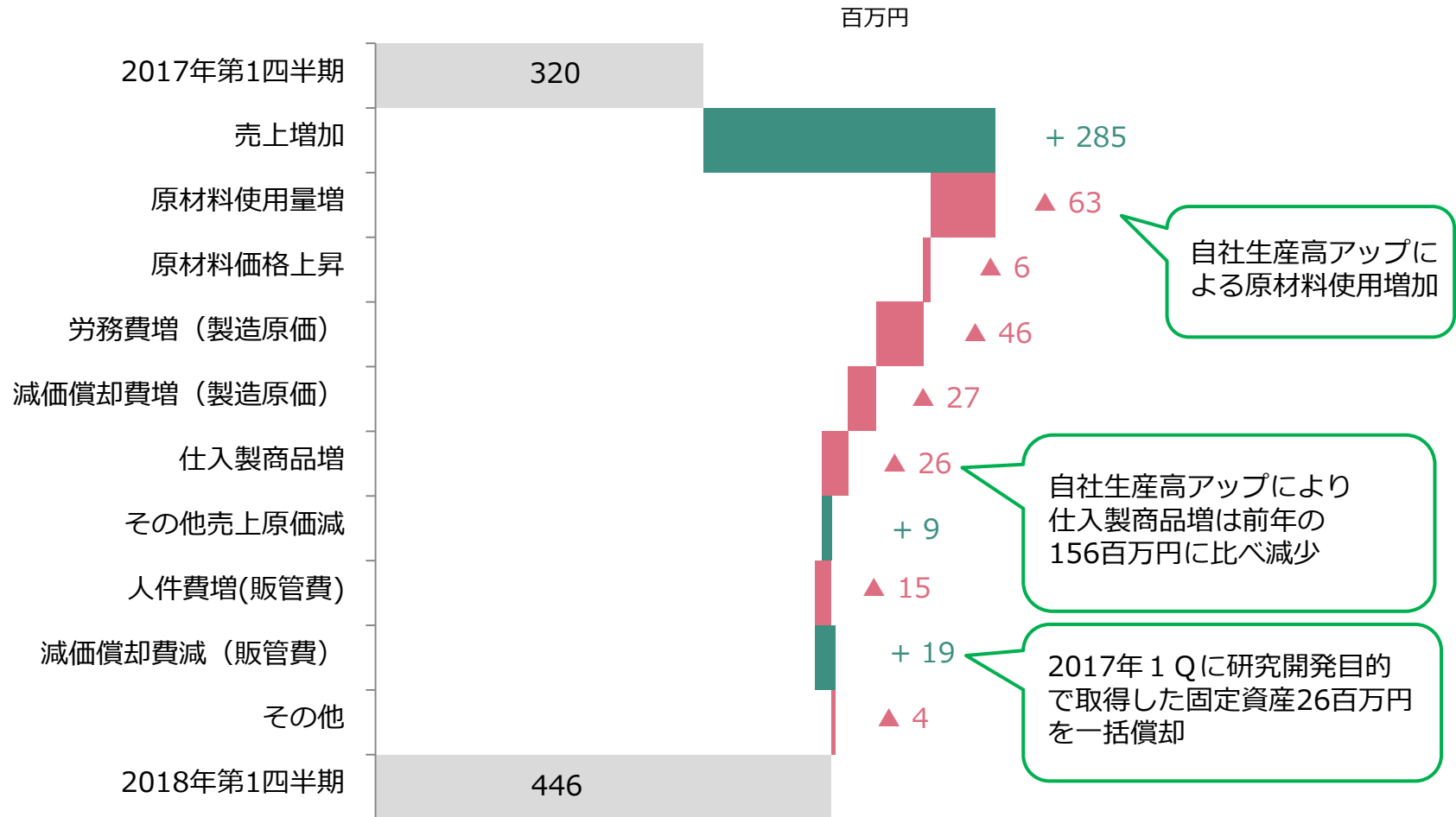
単位：百万円



※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

2018年12月期第1四半期業績概要

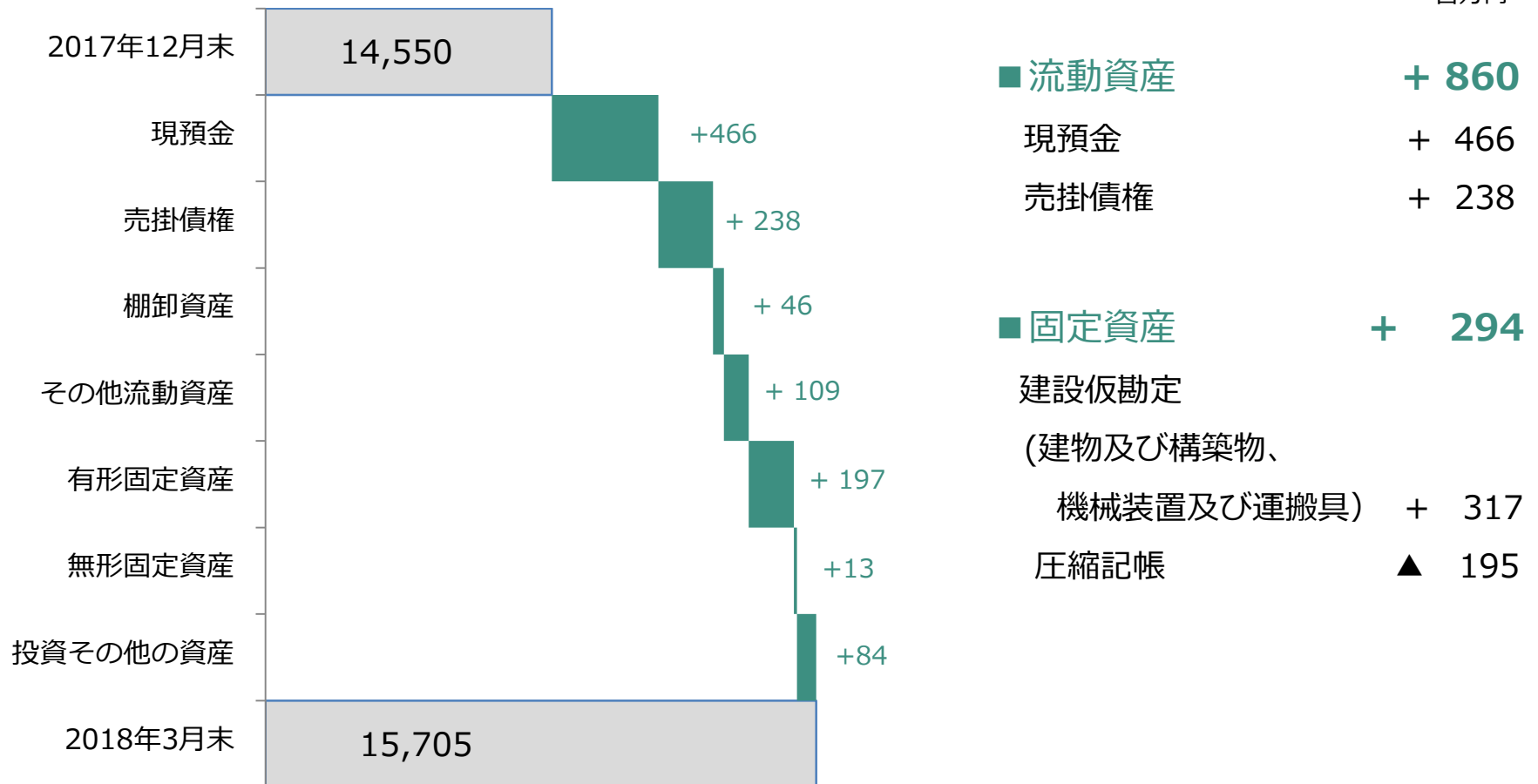
2018年第1四半期 営業利益の変動分析



2018年12月期第1四半期業績概要

2018年12月期第1四半期 連結貸借対照表 資産の部

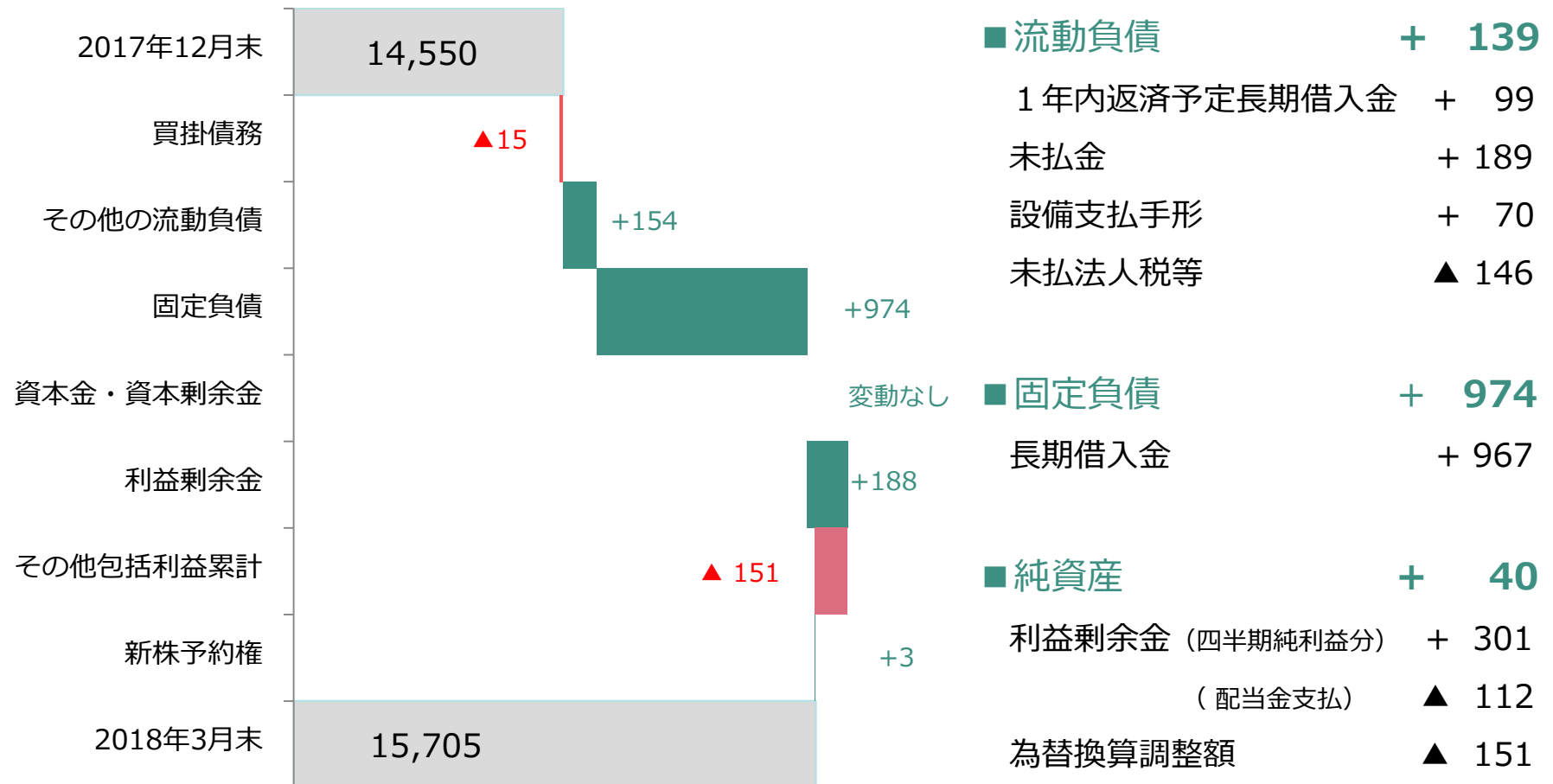
百万円



2018年12月期第1四半期業績概要

2018年12月期第1四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

百万円



参考資料

会社概要

会社名	竹本容器株式会社
事業内容	プラスチック製容器等の製造・販売
設立年月日	1953年5月19日
代表者名	代表取締役社長 竹本 笑子
本社所在地	東京都台東区松が谷二丁目21-5
資本金	8億314万円
発行済株式数	6,264,200株（1単元の株式数 100株）
株主数	5,329名（1単元以上保有）
グループ従業員数	933名

※ 数字はいずれも2017年12月末時点

“STANDOUT”な価値創造